

幼児向け



『あーそーぼ』

やぎゅうまちこ／さく
福音館書店 ¥900 (税別)

友だちに「あーそーぼ」と声をかけると、返事はみんな「あーとーで」。だって、みんな何かの「まっさいちゅう」。一緒に済ませて、さあ遊ぼう! リズミカルな文章で、親子で口ずさむのも、ひとりで読むのも楽しい絵本。



『うおいちば』

安江リエ／ぶん 田中清代／え
福音館書店 ¥900 (税別)

きよの家族は魚市場で働いている。魚市場に連れて行ってもらったきよは、おばあちゃんの誕生日祝いに、好物の金目鯛を探すよう頼まれる。魚が運びこまれ、セリにかけられる様子など、魚市場の一日がいきいきと描かれている。



『かあかあもうもう』

丹治匠／さく
こぐま社 ¥1,200 (税別)

からすの声は、「かあかあかあ」。うしの声は「もうもうもう」。どちらが早く、長く、そして上手に鳴き声を出ることができるのか。お互いが競い合いながら、最後は仲良く、テンポよく話が進んでいく掛け合い絵本。



『トルーシー・トルトルとトラ』

ヘレン・スティーヴンズ／作 ふしみみさを／訳
BL出版 ¥1,500 (税別)

泥棒のパパは、しっかりものの娘が見ていない間に、動物園でいろいろな物を盗んでしまう。そんなパパを懲らしめたのは、一頭のトラ。親子が織りなす楽しい物語と、ユニークな登場人物たちの心あたたまる関係を描きだす。



『ふくろうおやこ おやここうもり』

マリー＝ルイズ・フィッツパトリック／作
BL出版 ¥1,300 (税別)

木の枝にとまって眠る「ふくろうおやこ」。ぶらさがって眠る「おやここうもり」。そこに、大風が吹いてきたので、さあ大変!! 上からも下からも見て楽しめる、字のない絵本。たくさんのお話を作ってみよう。



『ぺんぎんたいそう』

齋藤慎／さく
福音館書店 ¥800 (税別)

「ぺんぎんたいそうはじめるよ」。2匹のペンギンが首を伸ばしたり、腕をパタパタしたり、足をあげたり。絵本を読みながら思わず体が動いてしまう楽しい絵本。福音館書店のホームページでは、音楽のついた動画を見ることができる。



『ぼくのいちにちどんなおと?』

山下洋輔／文 おるまいこ／絵
福音館書店 ¥1,400 (税別)

顔を洗う音、積み木が崩れる音、お母さんのことと…。音をテーマにこっちゃんの1日の生活が描かれている。躍動感あふれる絵と擬音で表現されるリズムが楽しく、読み聞かせにおすすめの1冊。



『まどべにならんだ五つのおもちゃ』

ケビン・ヘンクス／作・絵 松井り子／訳
徳間書店 ¥1,600 (税別)

窓辺に並んだおもちゃたちが、外を眺めて何かを待っている。季節が移り変わるとともに、不思議なもの、綺麗なものが見える。でも、自分が待っているものが見えたら一番うれしい。おもちゃたちの気持ちが伝わってくる絵本。

その他のおすすめの本

●『いろがみびりびりぴったんこ』

松田奈那子／作 アリス館 ¥1,100 (税別)

●『うみのそこたんけん』

中川ひろたか／ぶん 澤野秋文／え アリス館 ¥1,400 (税別)

●『おたからパン』

真珠まりこ／作・絵 ひさかたチャイルド ¥1,200 (税別)

●『かあちゃんえほんよんで』

かさいまり／文 北村裕花／絵 絵本塾出版 ¥1,300 (税別)

●『かげはどこ』

木坂涼／ぶん 辻恵子／え 福音館書店 ¥900 (税別)

●『きをつけて おおかみだ!』

セドリック・ラマティエ／ぶん ヴァンサン・ブルジョ／え たにかわしゅんたろう／やく ポプラ社 ¥1,200 (税別)

●『10ねこ』

岩合光昭／作 福音館書店 ¥900 (税別)

●『そうきばやしのすもうたいかい』

広野多珂子／作 廣野研一／絵 福音館書店 ¥900 (税別)

●『だーれのは?』

新井洋行／作 講談社 ¥900 (税別)

●『パンダなりきりたいそう』

いりやまとし／作 講談社 ¥1,000 (税別)

●『ピーレットのやさいづくり』

ウルリカ・ヴィドマーク／文 イングリッド・ニイマン／絵 高橋麻里子／訳 岩波書店 ¥1,000 (税別)

●『わかってるもん』

ひろかわさえこ／著 ハッピーオウル社 ¥1,300 (税別)